動物ルま

12月末現在 は川月末との比較 2,942人 (+6) 合 計 5,809人 (+5)

いい汗ながそう

◎3月1日(日) 男子バレーボール大会 ○3月15日(日) 混合バレーボール大会 ◎3月29日(日) 剣道大会

※大会についての詳細な点は、公民館 へ問い合わせ下さい。

保健衛生行事

個乳妊

児婦

時時

福祉セン

人通知のあ



2月の心配ごと相談

日時……5日、16日、25日 午前9時から午後3時まで

場所……福祉センター相談室

内容……生活相談·医療相談·家事 相談・児童相談・身障相談 職業相談・その他なんでも

/O印は公民館主催 ◎印は体育協会主催



交通災害共済組合に加入を!

"1日1円の会費で会員相 互の助け合い"ということで 新潟県交通災害共済組合が昭 和43年に発足してから今年で 12年目になりました。この間 皆様のご理解により加入会員 の数は年々増え続けて、昭和 55年度は県民 245万人のうち 161万人余 の方々から加入し ていただきました。また、交 組合が発足してから今までに 29億円を超える見舞金が支払 われております。いつ不幸な交 通事故に遭うかわかりません。

昭和56年度は家族そろって 交通災害共済に加入されるこ とをお奨めします。

金 額	災 害 の 程 度	等 級			
1,000,000円	死亡した場合				
700,000円	自賠責施行令別表の等級区分の1級各号に 掲げる傷害の場合				
150,000円	治療を要した期間が6月をこえ、かつ、入院 30日以上を含む実治療日数90日以上のもの	3 等級			
120,000円	治療を要した期間が5月をこえ、かつ、入院 21日以上を含む実治療日数75日以上のもの	4 等級			
100,000円	治療を要した期間が4月をこえ、かつ、入院 14日以上を含む実治療日数60日以上のもの				
80,000円	治療を要した期間が3月をこえ、かつ、入院 7日以上を含む実治療日数45日以上のもの				
60,000円	治療を要した期間が2月をこえ、かつ、入院 通院の実治療日数30日以上のもの				
40,000円	治療を要した期間が1月をこえ、かつ、入院 通院の実治療日数15日以上のもの	8 等級			
20,000円	入院通院の実治療日数7日以上のもの				

わたしの質問。わたしの意見



見舞金の請求について

詳細については

建設資金申して住宅金融公庫の 業務取扱店(銀行等)にお問合詳細については、お近くの公庫住宅金融公庫業務取扱店 込み受付に

(上桐部落にて)

昭和56年2月1日第90号 発行。編集/和島村役場企画課 印刷/(株)第一印刷

訪

中

寸

一十六年の部落区長として活躍を期待されていました。文教厚生副委員長、与板町外二ヵ町村水道企業団議会議員、

そして

五日日

仕事始め。郡内官公署

さつ

し併せて本年度事業要望する。

解できないだろうと痛感す 京ではとても越後の豪雪等は

るこ

五十六年第一回臨時議会

年にわたり和島村発展に尽くされてきました。

二日急逝されました。

五十五歳でした。

小林俊雄(東保内)村議会議員と急ば

林俊雄氏(議会議員)急逝され

元旦はまた清新の一月一日 昨夜

な予感で新年を迎えこの頃だが雪のあるこの頃だが雪のある

議場で職員の皆さんと年賀交換。のごあいさつを頂戴する。正午、に年始ごあいさつ。また村内から

十二日

上京。

企画課長帯同

また村内から

十日日

商工会工業部会総会

ここに心よりご冥福をお祈り

いたします。

小林さんは、昭和四十六年七月当選以来、

通

労苦も併せ偲ぶ。

多くの年賀を頂戴す

る。

七日

出県し関係部課にごあい

長岡周辺年始ごあいさつ

で帰村。

一方コ

ト不要の

遠不通上越線全面運休。

郡山

十四日 県内豪雪の為水上以に出向き本年の事業について陳情。

十四日

県内降雪烈しく遅延続出漸く到着。

十三日

国会、通産局、文部省

二時から出動して

いる除雪隊

のに

望し年頭のあいさつとする。待される人間像でありたい」と要して当然のことながら、村民に期

して当然のことながら、村民に期「仕事に精励することは公務員と

る。然し反面住民の通行確保かありそうな予感で新年を迎

と言う 0 なぜ科学肥料の使用が少ない 良と言う根本に重点を置いて ことは言う 需要に追 るのではないかと思いました。 穀物生産に必要な成分を補作の為に地力が低下し、年 41 いつけない為と値段が国内で生産する量が までもなく、 が低下 土壤改 年間

所得を上げている家庭であったに

も係わらず建物構造は、

日本と違

級に属していると思われるほどの国内、人民公社内に於ても上流階

をなし

部屋の中 ガとコ

か

>

ンクリ

が主

常象に残

つづ

住熊三郎氏より

寒々としたものでした。

家の材料

って暖かみを感じることはなく

間暇かけて田畑に肥料を投入、重要視しているのか、そしてで です 気がしました。 有機物の投入が多いのは、 た農作業で解明されたよう いるのかの疑問がここで体験 がなぜ必要以上に有機物を そして手 な すが、 T

に多 以前から人民公社側の説明 に有機物肥料の投入量が非常 いことを聞かされてい たの

なり、 糞尿、

国では有機物肥料を基本にし、ているという点です。もちろん ているという点です。もちろん高い為に経済性の一面も考慮さ もちろん中 高 n 用電気器具類はなにもなく、私達が日常使っているようなが入らない暗い感じでした。 三個の裸電球が見える程度で

口

した。

また

、な家庭

料を入れ、 私達に教えてくれました。 来るものばかりで、無駄のなさを の回りにあり、しかも安易に入手 な穴を堀り、 物肥料の材料は、 学肥料は補助的に使用されてい と言う簡単なものです。 言うまでもありませんが有機 魚粉、 これらを水田 その上に土をかぶせる 家畜の糞尿が主体と 稲ワラ、 の一面に大き 私達の 草、 ま 身 しても見当らだけであり、 見れば文化的生活であるとは、 必要最少限度の品物が置い らも老後の年金が支給される所や人民公社によって異り、少額なが して言えません。

も見当らず、

福祉につ

いては

決

浴室、

、私達日本人から 室、便所等はさが いてある のである

台所では、

食器類、

た。

力化のもとに便利であると言うとかく私達は発展、近代化、 みにおぼれがちですが自助努力し 次に家庭訪問時に感じたことで いく必要があると痛感しました。 私達が訪問した家庭は中国 全く支給されない所もあると言う

神無月時雨のあめに

小男し

かたてり

奉

やまたつの向ひの丘

小男鹿立て

に三、 だと話 ているようにも見受けられまし生活が普通であると考え、満足 なっても無料で治療が受けられることです。しかし公社員は病気に に一台あるかなしかのテレビを夜 を含めて)は低いのですが、 事と思いました。生活水準 システムがあり、 集まって見る事が一番楽 そして働く彼等にとっては、 四回の映画鑑賞と生産大隊 して 中国ならでは 満足し 今の 得 0

ています。 くれた公社員の言葉が しい娯楽

之墓」 にて、 天保五年在甲午春正日ぶれて河原ゆもきは何ま によってここに建てられたと伝 えられるが、正面に「由之宗匠 て、天保四年三月建立された。木村家を始め諸方からの浄財 筆者は由之の狂泰世である。 ゆく水はとじまらなくにう 左脇に弟由之墓がある。遣言 と深刻されて空白に

春正月十有三 む

住んでいたが兄の後を追う加所払いになり、与板の松下庵の道を歩いた由之も晩年には のみとり に案内して、 家墓地に眠って 亡くなって、 とある。 良寛に師事し、 をしたと言われる。 山本家をついで苦難 今兄弟並んで木村 しかも良寛の いる。 晩年に木村家 (つづ 如底は、 臨

隆 泉

央には、 家の墓地の中央にある。碑面中 五十二章の詩と左には 側には禅師の僧伽と題する五言 良寛の墓は本堂の裏手の 良寛禅師墓と刻し、 木村 右

宗西縣

由之の墓

44 良寛遷化の Ę h 地 島 (=)

An 馬

良寛の墓

銃砲や火薬類の保管は厳重に!

東

įЩį 中小島谷 下小島谷 野浦 2 富 谷 lf. 内 m 畑 岡 前 浦 関 高 小 H Ш 細 高 久 西 高 本 井 中 村 П 田 Ш Œ. Ш 橋 浦 桑 辰 栄 謹二郎 俊 泰 浜 īΕ 軍 四 栄 良 堆 司 雄 文 男 DH 茂 島 1 道城下 寺 法 Ш 善 HT HT 町 崎 谷 HT 端 央 野 谷 五十嵐 Ξ 河 早 木 家 藤 早 间 加勢 本 tro 池 笹 間 Щ 村 後 Щ 部 田 黒 Œ 験郎 金次郎 Œ 孝 堅 ¥ 洪志郎 信 旗 四次郎 久 文 平 嘉 iti 次 吉 市

村长室の

里极

D'

を招集し、

仮契約

した工事

0

議

和島村長

过

広

委 買

(2)

新区長さん紹介

昭和五十六年の区長さんが、決

ま

した。

一年の間皆さん

ですが、

よろしくお願

致

と役場との連絡をお願い

るわけ します。

昭和55年12月1日付で次の新しい民生委員の方々が厚生 大臣より任命されました。

民生委員は、一定の区域を担当して、その区域に住む人 達の生活状態を常に把握し、福祉に対する住民の適切な保 護や指導に助力することが主たる仕事です。

また、児童委員も兼務されておりますので、お気軽に相 談してください。

担 当 区 域	部落		氏		名	
上桐、三瀬ヶ谷	£	桐	小	黒	Œ.	三郎
北野、根小屋、荒巻	荒	卷	हन	部	ケ	イ
新田、川端、道城下	Щ	端	早	Ш	シ	ズイ
中央、法善町、寺町、小谷	寺	町	小	林	芳	洐
下町上、下町下	下町	.	小	室引	尔右:	r M
上小島谷、若野浦、阿弥陀瀬	阿弥區	吃瀬	藤	田	勇氵	台郎
中小島谷、下小島谷、梅田	下小	^品 谷	久	住	栄	-J·
下富岡、駅前	駅	前	塚	H	善	平
高畑、日野浦、中沢	日野	浦	平	沢		進
東保内、村田	村	田	小	林	长	作
城之丘、両高、坂谷	城之	. lí:	Ħ	田	''y	7

保内堰の件等で与板土木へ陳情。
九日 公共土木の重要案件、
決を頂く。続いて年買交換会。

ました。

所で

月十五日夜、 「サイの神」

基

(中沢

両高)

が行われ 村内数カ

み立ては大人の仕事です。 松飾等を子供達が集め、組 個々の家より、竹、わら、 夜七時前後には、

舞いあがれ!」と叫び、宮習字を燃やし「高く高く、 ながら楽しい小正月を祝 モチやスルメを焼いて食べが上手になるようにと願い 穀豊穣が祈られました。 で無病息災、家内安全、五 られ、勢いよく燃え上る中 した 自分の書いた 火がつけ 字





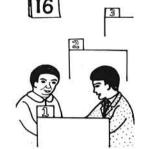




赤々ともえる炎が 行 事

しきる雪の中を

2A 16



ことになり、長

なりかねません。申告は、長い時間待っていただ落ち着いて相談ができた

ん。申告はで

落ち着いて

なか

きるかぎりお早く済ませるよう

٠٠.

告はお早め

昭和五十五年分の贈与税の申告 また、 所得税の確定申 から三月十六日ま

の間に。 での間に提出することになってい 書は二月十六日 書は二月一日から三月十 毎年のことです と申告相談会場は大変混 期限間近に - 六日まで

多数御参加下さい

対象者

第 1

の他希

内

を持つ親、

次のとおり講座を開催しますので 養育態度について考えてみよう 成における大事な時期です。

その子どもの性格

公

講師

乾布まさつはその

一つの方法と

してお奨め 〈準備するもの〉

身体の働きを盛んに

し、発達を いことです。

しますので大変よ

を減らすのみならず、 皮膚を鍛えることは、

講座

もをとりまく親・家族の人間関係

容

時間

る者。

午前9時30分~12時 和島村総合福祉センタ

回月・日

児童手当支払

大正10・2

大正10

2月中に

国民

年

金

ょ

1生まれ

した

で支払います。支給期間島崎支店の口座振り込み は昭和五十五年十月分かで支払います。支給期間 は児童手当の支払 十日に北越銀行 まるときに支給されます。 児童手当は次の要件にあて、昭和五十六年一月分までで 月までの月分の児童手 人以上が義務教育終了前 上養育しており その人の前年 十八歳未満の児童を三人以 (中学校を卒業するまで であること。

2/15 家庭教育の基本的な考 県社会教育主事 (H) 之方 公民館長 家庭生活と子どもの習 小学校長 2/22 公民館長 (日) 慣形成 保健婦 家庭における健康管理 3/1 映画 公民館長 (H) 「ひとりでできる」

〈やり方〉

形にしてこす

ルを丸めて両端を持っ

釛

にきて

いる自律神経を刺激 は皮膚や皮膚血管

節するのがねらいです。て自律神経の働きをう

まく調

ときの

にタオ

ガサした古いタオ

ルがよい)

タオル(できれば糸目がガ

の額に満たないこれでは前々年)の四 そのう での児 ちー

IIIIIIII (5)

老齢福祉年金を請求

(老齢年金受給者は非該当)

明治44・2・2~ 70歳になる人

月です。

老齢年金を請求.

大正5・2・2 65歳になる かけ金をかけ終り

大正5



J. \$ G) 意

健

廳

児 の乾布ま さつ

子供の こすり

全体で三~ î やり を三番まで歌い終 五分。 がわるぐらい 好きな 童謡

最初からあまり ű

やがります。一 かって徐々に強くしてゆきま 乾布まさつ いこと。痛い 一ヵ月ぐらいかと、子供はい か

運転が示す あなたのお人柄